

心癒やすギャラリー

製鉄室蘭病院・がんセンター

製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）のがん診療センター内に「せいてつギャラリー」が設けられた。「心の癒やし」をテーマに、渡り廊下を有効活用したスペースが早速、来院者らの注目を集めている。

がん診療センターは9月に完成。がんの診断や治療、

予防に関するすべての設備を集約させた国内でも先進的な施設。ギャラリーは同センターと中央診療棟をつなぐ廊下の壁のスペース（縦3^{メートル}、横10^{メートル}）を有効に活用した。

現在、北海道から波照間島（沖縄県）までの間をヒッチハイクと歩きで旅をしている飯村遊宇さんの絵画が展示。

「下書きなしで一発で描く線を、また世界を、自分自身で楽しんでいく」などとした飯村さんの感性が人氣だ。

同病院では今後も定期的に作品を入れ替えて「みなさんの心が晴れるようなスペースにしたい」と話している。



「心の癒やし」をテーマにした「せいてつギャラリー」

（松岡秀宜）